

参加無料

# オンラインセミナー 「新型コロナウイルス感染症の現状と今後の見通し」

新型コロナウイルス感染症への対策においては、感染拡大防止と社会経済活動の両立が最大の課題となっています。感染症に対しては、その特性や傾向を理解し、「正しく恐れる」ことが重要です。今回のセミナーは、第一線の学識者をお招きし、感染症医学の見地から新型コロナウイルス感染症の現状や見通しについて解説いただくとともに、経済学の立場から、緊急事態宣言や行動自粛の影響等も踏まえ、経済と感染拡大防止の両立のために望まれる政策的対応や、社会経済の構造変化等についてご講演いただきます。

このセミナーが皆様の「ウィズコロナ」時代の企業活動や市民生活のヒントになれば幸いです。

日時

## 2020年11月4日(水)

### 13:30～17:00 ※オンラインで開催いたします

### 講演「新型コロナウイルス感染症の時代を生きる」

昭和大学 医学部 内科学講座 臨床感染症学部門 客員教授

## 二木 芳人 氏

< 講演概要 >

新型コロナウイルス感染症は2019年11月に中国に端を発し、あっという間に世界に広がり3月11日にはパンデミック宣言となった。このすさまじい拡大のスピードは、まさに新時代の感染症の脅威をまざまざと見せつけるもので、2020年9月9日現在、世界の感染者数は2,700万人を超え、死者は90万人に達している。幸い我が国の初期段階での被害は比較的軽微であったが、まだまだこのウイルスとの戦いは長いものになるであろうし、我々はたちまちはこれからの秋・冬のシーズンに向かうにあたり、努々油断することのないよう対応してゆかねばならない。本講演では、この新しいウイルスのこれまでに分かったことを明確にし、今後の課題や期待を述べながら、将来を展望してみたいと考えている。



### 講演「コロナ危機の経済政策」

東京財団政策研究所研究主幹、キャノングローバル戦略研究所研究主幹  
慶應義塾大学客員教授、経済産業研究所プログラムディレクター／ファカルティフェロー

## 小林 慶一郎 氏

< 講演概要 >

新型コロナウイルス感染症との闘いは長期化し、行動自粛と経済再開の繰り返しでは、経済社会が持続可能ではない。感染症検査を拡充し、幅広い接触者の行動調査で感染者を早期発見し、待機療養施設に囲い込む積極的な感染防止の政策対応が求められる。こうした政策実現に向けた現状と課題を論じる。感染症危機の長期化にともなって、産業構造や働き方も変わりつつある。人との距離が気になり、手指の清潔に気を付ける日常。飲食業や観光業は産業規模として縮小し、他方でオンラインサービスの新ビジネスが生まれると見込まれる。多くの職業でテレワークが働き方の基本形として浸透し、居住と就業先が地理的に分散するかもしれない。社会保障や財政再建の新しい課題も含め、予想される産業と社会の構造変化について論じる。



申込方法

東京海上研究所ホームページ (<https://www.tmresearch.co.jp/seminar/20201104/>)  
または右のQRコードよりお申し込みをお願いします。  
お申し込みの締切は10月23日(金)です。

照会先

株式会社東京海上研究所 (担当: 片山)  
Mail: inquiry@tmresearch.co.jp TEL: 03-3285-0391

※演題、講演概要は現時点の内容であり、変更となる場合があります。

